



学校だより

志高く

正しい判断力とたくましい実践力を
もった熊谷東中生を育む学校

発行 熊谷市立熊谷東中学校
電話 048(521)0066
FAX 048(521)8429
令和7年11月5日
第8号

いちばんたいせつなことは、目に見えない 校長 吉田 順一

10月27日(月)から11月9日(日)までの2週間は、秋の読書週間となります。今月は、皆さんにサンテグジュペリの『星の王子さま』という本を紹介します。あらすじは次のような内容です。

話は主人公の「ぼく」が他の星から来たという子どもの王子さまに出会うところから始まります。王子さまは、地球に来る前、とても小さい自分の星に住んでいました。その小さい星に、どこからか飛んできた種が芽吹き、気位の高い美しいバラの花が現れます。

王子さまはそのバラが大好きで、世界で一番美しいと思い大切に世話をしていましたが、バラのあまりのワガママさに苦しくなり、星を出ることに決めます。

本当はバラも王子さまのことが好きだったのですが、バラはその気持ちを最後に伝え、王子さまは複雑な気持ちで星を去っていきます。

その後たくさんの星を旅した王子は、地球にやってきて何千というバラが咲き誇っている様子を見てショックをうけます。自分の星で大切にしていたバラは特別じゃなかったのか...

そこで、王子さまは一匹のキツネに出会い、キツネは友達になりたいと王子に伝えました。「今は何万といううちのただの一匹のキツネだけれども、時間を共に過ごしいろんな思いを交わすことによって、それがただのキツネから特別なキツネになっていくということ、それが友達になるってことだよ」と伝え、王子さまははっとします。王子さまにとって、自分の星にいるバラの花は、雨の日も風の日もお世話をし、大切にしてきたバラで、他の何千本とあるバラとは全く違う大切な存在だと気づき、自分の星に帰ろうと決意します。

そこから、悲しくも希望のある美しい結末へと向かっていきます、ぜひ、興味のある人は、続きを読んでください。

過ごした時間や、そこで経験したことこそが、当たり前にあるものを、大切に特別に変えると伝えるキツネ。「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えなくてことさ。大切なことは、目に見えないんだよ」という言葉は、目に見えているものは同じでも、それに意味を与えるのは自分の心で、そこに本当の豊かさがあるということ、表面的なものに囚われずに、その奥にあるものを、自分の感性や創造性を広げて見ることの大切さに気づかせてくれます。



10月は、体育祭や東雲祭などの学校行事が行われ、クラスの仲間と協力して一つの目標に向かって努力する皆さんがいました。そこには、目にはみえなくてもそこに「絆」や「愛情」、「思いやり」があふれ、王子さまがバラに費やしたような、仲間と共有した「時間」があったのです。

優勝など目に見える成果を求めがちな中で、目には見えない「心」が真に重要であるというメッセージをこの言葉は伝えています。きっと皆さんも、行事を通して「目には見えない大切なもの」を見つけられたのではないのでしょうか。後期に入りました。この学級で出会った仲間と過ごす最後の半年です。これからも「目には見えないもの(心)」を大切にしていきたいと思います。

第65回 体育祭 スローガン

R7. 10. 8

百花繚乱 ～最高の仲間と色彩豊かな花を咲かせろ～



各学年の優勝クラス
3年1組・5組（同点優勝）
2年4組
1年1組

よめとろばます!



令和7年度 東雲祭 スローガン

R7. 10. 24

桜花爛漫 ～響かせよう 僕たちの歌声～



最優秀賞 3年2組「ヒカリ」
2年3組「時を越えて」
1年2組「絆」
優秀賞 3年3組「信じる」
2年4組「旅立ちの時～Asian Dream Song～」
奨励賞 東雲学級「ハンドベル演

11月4日（火）より教育相談を実施しています

「家庭の教えで芽を出し 学校の教えで花が咲き 地域の教えで実になる」という諺（ことわざ）のように、お子さんの成長を「学校」と「家庭」で共有しあい、これからの進路（進むべき未来）や学習に生かせる有意義な時間を創りたいと思っておりますので、お忙しい中ですがご協力をお願いします。